

沖縄が戦争の最前線？！

戦争準備に反対の声を



沖縄は80年前、「本土決戦」引き延ばしの「捨て石」にされました。米軍との戦争に総動員され、県民の4人に1人の命が奪われました。その後、日本政府は再び沖縄を切り捨て、米軍占領下で人権が蹂躪（じゅうりん）され続けました。沖縄県民は自らのたたかいで1972年5月15日に占領を打破しましたが、その後も日米安保条約で広大な米軍基地がおかれ、さらに自衛隊基地も大増強され、現在も戦争の危険にさらされています。

土砂投入も「やってる感」 完成見込みのない基地建設に税金投入

沖縄県名護市辺野古・大浦湾への土砂投入が開始されたが、軟弱地盤の対策はなされず米軍新基地建設の完成の見込みはありません。かかった費用はすでに政府見積もり9300億円の7割を超ますが、工事の進捗状況は16%。その建設費用には日本の税金が使われて続けています。環境を破壊し、沖縄県民の反対の声を無視したこの無駄で無謀な工事は直ちに中止すべきです。

「台湾有事」で戦争を!? 日本の戦争参加を示唆する危険な立場

高市首相は、「台湾有事」が発生した場合、米軍の戦争に自衛隊が参戦する「存立危機事態」に該当すると答弁しました。高市政権はアメリカ言いなりに、沖縄・南西諸島を対中国封じ込めの最前線に位置付け、軍事要塞化を進めています。こんなことを進めれば、緊張を高め戦争の危険を強めるばかりです。「沖縄を再び戦場にするな」の声をあげましょう。



普天間基地の無条件撤去・辺野古新基地建設中止を求める署名にあなたも!
名護市長選（来年1月25日投開票）で新基地建設反対派の勝利を——ご支援をお願いします
支援募金の送り先: 沖縄県統一連=郵便振替口座 01710-8-62723



日本平和委員会

2025年12月発行

一人ひとりの平和の願いをもと行動する平和NGOです
「平和新聞」(旬間)、「平和運動」(月間)発行中
<http://j-peace.org/> (X) (F)

